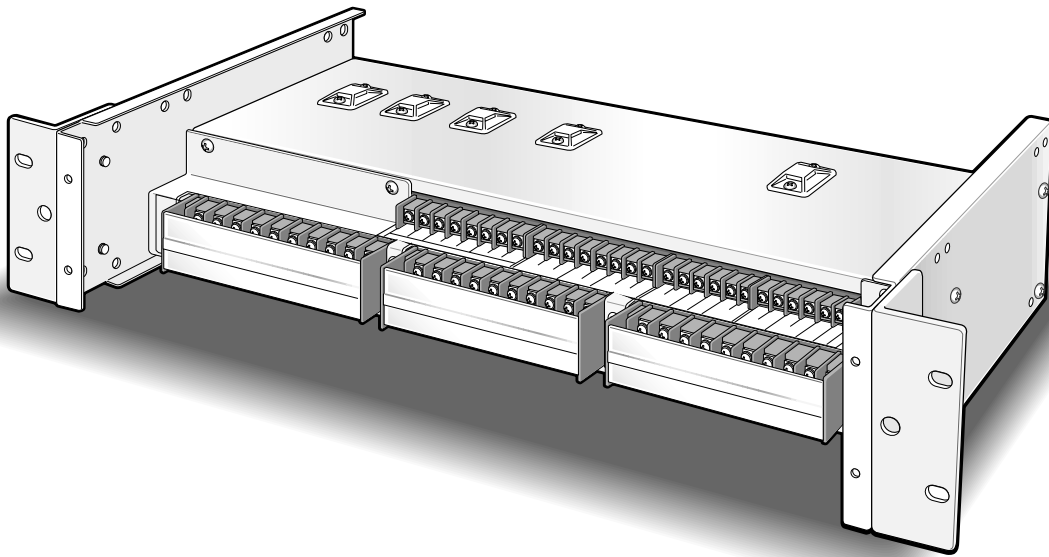


工事説明書

端子台ユニット

品番 WU-SA100



※イラストは前面パネルを外した状態です。

このたびは、端子台ユニットをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この工事説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

はじめに

商品概要

本機は、音声調整卓 WL-SA122、SA133専用のスピーカー回線増設用の端子台ユニットです。
音声調整卓に本機と回線増設ユニット（WL-SA103）を接続することにより、スピーカー回線を増設できます。
音声調整卓に増設できる本機の台数は1台です。
スピーカー回線の増設は、各チャンネル最大20回線（合計30回線）で、音声調整卓としては60回線まで可能です。

付属品をご確認ください

工事説明書（本書）……………1
ラックマウント用ねじ（飾りねじ M5×8）……………4
束線バンド……………3
ヒューズ（2 A）……………1
円端子ケーブル……………6

免責について

この商品は、音声調整卓 WL-SA122、SA133でスピーカー回線を増設するときに必要なものですが、本機だけで放送ができるものではありません。

弊社は如何なる場合にも以下に関して、一切の責任を負わないものとします。

- ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊的、または結果的損害・被害
- ② お客様の故意、誤使用や不注意による損害、または本商品の破損等
- ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず発生した一切の故障または不具合
- ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、放送ができないなどによる不便・損害・被害
- ⑤ 第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便、損害、被害

もくじ

はじめに

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
安全上のご注意	4
取り扱いについて	5
設置上のお願い	5
接続上のお願い	5
各部のなまえ	6

接続

接続のしかた	7
音声調整卓（本体・端子台ユニット）との接続	7
リレーユニットを使用したシステムの接続	8
音声調整卓に非常電源ユニットを接続（停電放送対応）	10

その他

仕様.....	11
アフターサービス.....	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

- ただちに音声調整卓の電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

取付ねじはしっかりしめる



けがの原因になります。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに音声調整卓の電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

決められたヒューズを使う



規定以外のヒューズを使うと、火災の原因になります。

取り扱いについて

設置上のお願い

⚠警告、⚠注意に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

本機は音声調整卓 WL-SA122、133専用の端子台ユニットです。

工事を始める前に、全機器の電源プラグを抜いてください。

本機はラックマウント専用です

必ず、音声調整卓または袖卓に組み込んで使用してください。

ヒューズの交換について

必ず音声調整卓の電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。ヒューズは必ず指定容量のヒューズを使用してください。

静電気について

設置工事時、基板に触れる必要があるときは、静電気による破損を防止するために、次の内容をお守りください。

- 作業を始める前に、音声調整卓本体部などの金属面に触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。
- 回線増設ユニット（別売品）は、取り付ける直前まで袋から取り出さないでください。
- 回線増設ユニット（別売品）の取り扱いの際は、基板上の部品に触れないでください。
- 回線増設ユニット（別売品）の取付時は、基板に無理な力がかからないようご注意ください。

音声調整卓の操作パネル部の輸送用ねじ（青色）について

操作パネル後部にある輸送用ねじは必ず外してから開けてください。取り付けたまま操作パネルを開けるとパネルが破損します。詳細は音声調整卓の取扱説明書の工事説明をお読みください。

音声調整卓の操作パネル部の倒れ防止について

音声調整卓の操作パネルを開けたときは、操作パネル倒れ防止のため、倒れ防止アームをパネル側面の孔に掛けてください。詳細は音声調整卓の取扱説明書の工事説明をお読みください。

お手入れについて

電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。

ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。

ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。

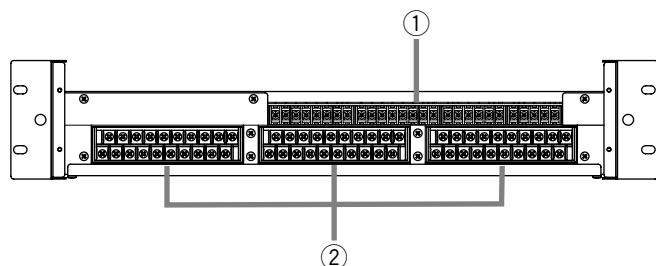
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

接続上のお願い

- 必ず接続する機器の取扱説明書、工事説明書を合わせて、よくお読みください。
- 発振防止のためマイクケーブルと出力ケーブル、スピーカーケーブルは束ねないで、離して配線してください。（目安として5 cm以上離してください）

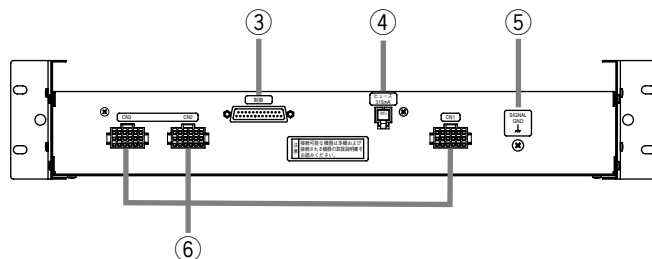
各部のなまえ

前面



- ① 制御端子
接続しないでください。本機では使用しません。
- ② 音声入出力端子
電力増幅ユニットの出力やスピーカー回線を接続します。
CN1、CN2、CN3の合計3組あります。
接続は音声調整卓 WL-SA122、SA133の取扱説明書の「接続のしかた」をお読みください。

後面



- ③ 制御コネクタ（D-SUB25ピン）
本機では使用しません。
- ④ ヒューズ（315 mA）
リモコンマイク用の電源ヒューズです。
- ⑤ アースねじ（SIGNAL GND）
アース線を接続します。
- ⑥ 音声コネクタ（18ピン角形コネクタ）
音声調整卓の音声コネクタに音声ケーブル（回線増設ユニットに付属）で接続します。

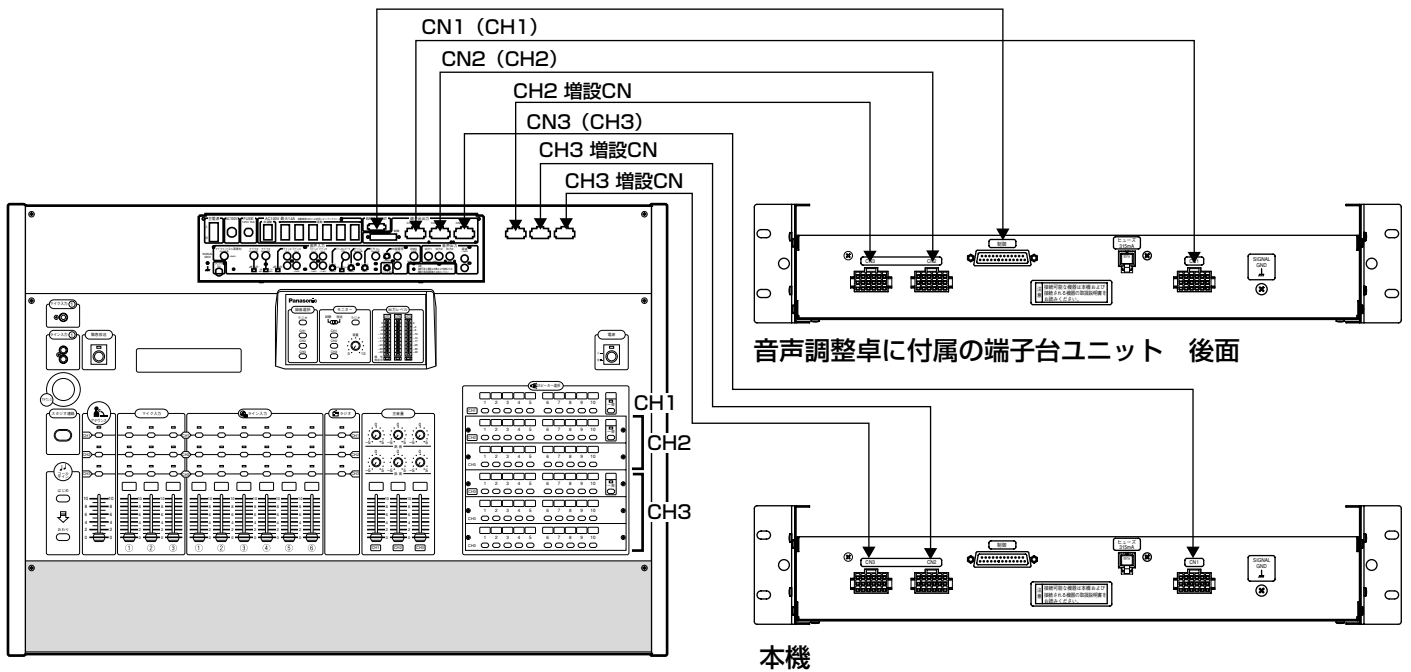
接続のしかた

音声調整卓（本体・端子台ユニット）との接続

下図は音声調整卓 WL-SA133にCH2を20回線、CH3を30回線に増設した場合の接続図です。

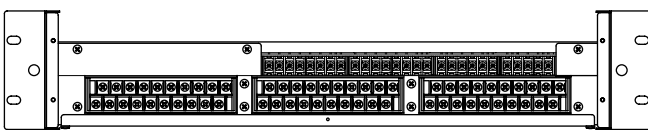
回線ユニットの組み込みかたは、音声調整卓および回線増設ユニットの取扱説明書をお読みください。

※同じ系統の音声入出力CN端子のスピーカーCOM間を、回線増設ユニットに付属の円端子ケーブルでわたり接続してください。同じ系統が音声調整卓付属の端子台ユニットと本機間にわかれると、円端子ケーブルの長さが足りなくなることがあります。このときは、別途手配してください。

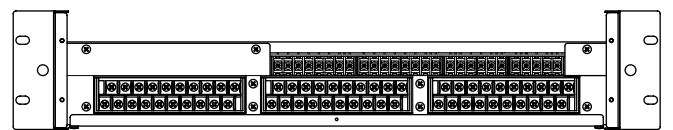


音声調整卓 本体部接続パネル

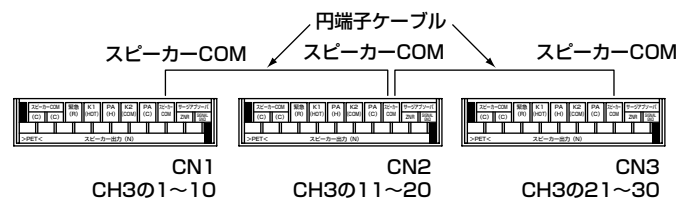
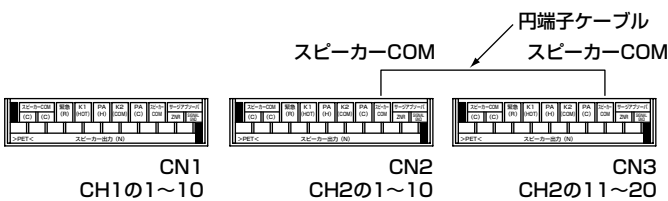
スピーカーCOM間のわたり接続図



音声調整卓に付属の端子台ユニット 前面

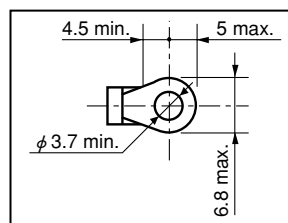


本機



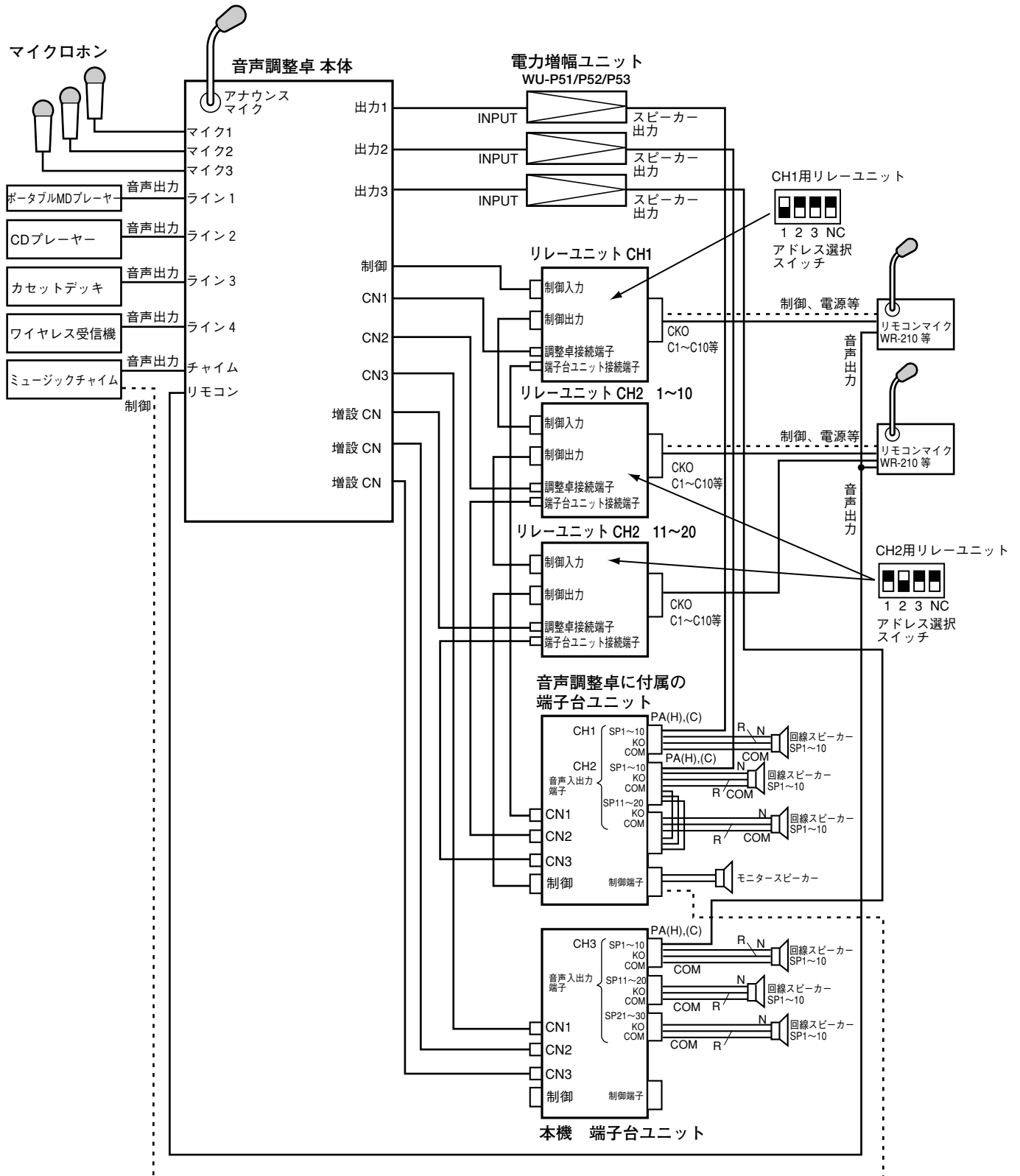
別途手配時の使用線材 より線径φ0.75 (AWG 18)

線材の先端に丸端子を取り付けてください。
丸端子はJIS C 2805 RAV1.25-3.5に適合するものをご使用ください。（右図）

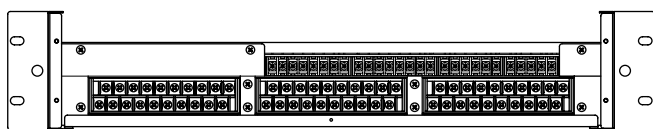


リレーユニットを使用したシステムの接続

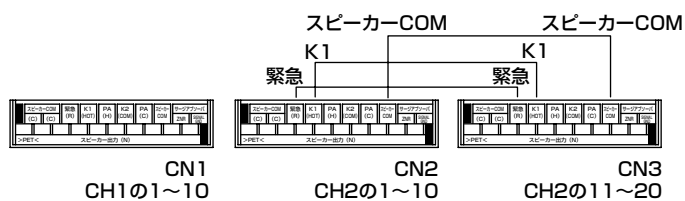
下図はCH1 (CN1) 10回線、CH2 (CN2) 20回線にリモコンマイク放送用のリレーユニットを接続したものです。CH3 (CN3) 30回線にはリレーユニットを接続していません。



リレーユニットを使用した場合は、スピーカーCOM間の他に同じ系統間の音声入出力CN端子のK1（HOT）間、および、緊急（R）間を付属の円端子ケーブルでわたり接続してください。同じ系統が音声調整卓付属の端子台ユニットと本機間にわかれると、円端子ケーブルの長さが足りなくなることがあります。このときは別途手配してください。

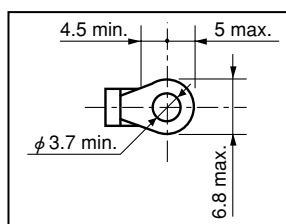


音声調整卓に付属の端子台ユニット 前面



別途手配時の使用線材 より線径φ0.75 (AWG 18)

線材の先端に丸端子を取り付けてください。
丸端子はJIS C 2805 RAV1.25-3.5に適合するものをご使用ください。（右図）



補足

- リレーユニットは10回線ごとに1台です。
- リレーユニットは接続するチャンネル（CH）の回線数分の台数が必要です。
- リレーユニットは最大6台まで接続できます。
- リモコンマイクは最大3台です。

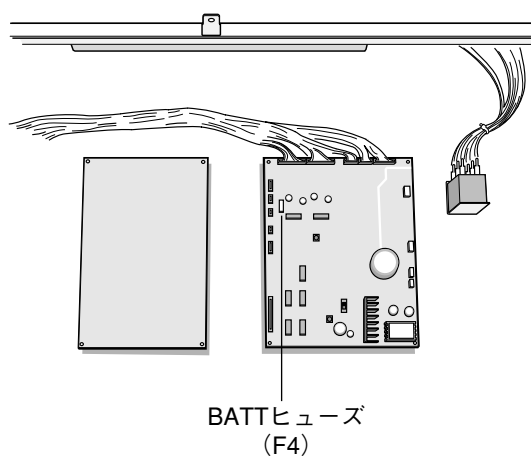
接続のしかた（つづき）

音声調整卓に非常電源ユニットを接続する場合（停電放送対応）

リレーユニットの接続台数により、音声調整卓内部の「BATTヒューズ F4」の交換が必要になります。

リレーユニット台数	BATTヒューズ (F4) 容量
1～3台	1A (出荷時)
4～6台	2A (付属)

音声調整卓内部の底面 電源制御基板部



仕様

寸法	幅 480 mm 高さ 88 mm 奥行き 200 mm
質量	約3.1 kg
仕上げ	パネル AVアイボリー塗装鋼板 (マンセル 7.9Y6.8/0.8近似色)

アフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この端子台ユニットの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

異常のあるときは、音声調整卓の電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	端子台ユニット
品番	WU-SA100
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

■ 当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-878-410** パナハ ヨイワ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WU-SA100
	販売店名	電話 () -				

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号